

子どもを 健やかに 育むために



子育てをしていると、子どもが言うことを聞いてくれなくて、イライラすることもあります。つい、叩いたり怒鳴ったりしたくなることもありますよね。一見、体罰や暴言には効果があるように見えますが、恐怖により子どもをコントロールしているだけで、なぜ叱られたのか子どもが理解できていないこともあります。子どもの気持ちに寄り添いながら、みんなで前向きに育んでいきましょう。

POINT 3 子育てに 体罰や暴言を使わない

叩くことによって得られた子どもの姿は、叩かれた恐怖によって行動した姿。自分で考え行動した姿ではありません。子どもにとって大人から叩かれることはとても怖いことです。ちょっと叩かれただけ、怒鳴られただけでも、心に大きなダメージを受けることもあります。それに体罰や暴言は「虐待」へとエスカレートする可能性もあります。「叩かない怒鳴らない」と心に決めましょう。



POINT 1 子どもが親に恐怖を持つと SOSを伝えられない



親に気に入られるように、親の顔色を見て行動するようになります。また、子どもが心配事を打ち明けられなくなります。心配事を相談できないと、いじめや非行など、より大きな問題に発展してしまう可能性もあります。

POINT 4 親自身が SOSを出そう



育児の負担を一人で抱え込まずに、家族に分担してもらったり、さまざまな支援サービスの利用も検討しましょう。子育ての苦勞について気軽に相談できる友だちもできるといいですね。

POINT 2 爆発寸前の イライラをクールダウン

子どもが言うことを聞いてくれないときに、イライラすることは誰でもあること。でも、疲れていたりして、もともと抱えているストレス度が大きいと、子どものちょっとした行動をきっかけに、イライラが爆発してしまうことがあります。イライラが爆発する前に、クールダウンするための、自分なりの方法を見つけておきましょう。



POINT 5 子どもの気持ちと行動を 分けて考え、育ちを応援

子どもに「イヤだ!」と言われたとき、親自身が戸惑うこともあるでしょう。でも、2,3歳の子どもの「イヤ」は、自我の芽生えであり、成長の証でもあります。「どうしたらいいかな?」と、子どもの考えを引き出し、必要に応じて助け船を出しながら、子どもの言い分を気長に聴きましょう。



- 体罰・暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響をおよぼします。
- 体罰は百害あって一利なし。子どもに望ましい影響などもたらしません。

子育ての悩みがあるときは、仙北市子育て推進課または児童相談所全国共通ダイヤル「189」にご連絡ください。

まちづくり 日記

No.119

『田沢湖クニマス未来館の使命』

仙北市長 門脇 光浩

7月1日、仙北市田沢湖クニマス未来館がオープンしました。山梨県富士河口湖町西湖でクニマスが発見されてから、早6年以上の時間が経過しています。しかし、この時間があったおかげで、未来館の存在の意義や使命を、より鮮明にすることができました。

田沢湖クニマス未来館は、科学をベースに田沢湖を見つめ、湖の再生とクニマスの泳ぐ水質を取り戻す活動拠点です。県・市協働プロジェクトとして議論が始まった以降も、やはり観光施設といったイメージが先行し、同館が担う骨太の狙いと距離感があったことは事実です。

もちろん、未来館は県・市や湖畔の観光振興に寄与する力が十分にあります。多くの皆さまの献身的な協力によってクニマスの生態展示、貴重な収蔵史料、また新たな知見公開などが、その可能性を如実に物語っています。その上で、田沢湖再生を諦めない、その思いやエネルギーを次代にしっかり伝え育む学習研究施設、そんな役割を最重要視しました。今後も水質環境の改善手法や生物学的識見などを収集し、子どもたちをはじめ世

界の皆さまと共有しながら、過去と未来の橋渡しを続けることが、田沢湖クニマス未来館の本来の存在意義、使命です。今、クニマスの生存を信じ、探し続けた多くの町村民・市民・県民の皆さまのお顔を思い返しています。既に他界された方々も一緒に喜んでくれていたと思います。そして、クニマスをどうにかして田沢湖で泳がせたい、田沢湖を多くの魚たちが住める湖にもどしたい、だから時間をかけても取り組みを継続しなさいと、そう言っている声が聞こえます。しかし、田沢湖再生は山梨県や秋田県のおよばない取り組みです。生命で溢れる田沢湖を取り戻すため、国中の、また世界中のご協力をいただく仕組みづくりを急がなければなりません。未来のいつの日か、それを予測することは困難ですが、田沢湖の再生が叶った時、平成29年7月1日の今日が、その始まりの日だったと振り返る日が訪れることを信じています。皆さまにはその日が来るまで、息の長いご支援をどうかよろしくお願いたします。

爽やかな湖畔の風を感じて走ろう! 第32回田沢湖マラソン

TAZAWAKOMARATHON

エントリー受付中!

エントリーの締切は
7月21日(金)

2017年9月17日[日]

今年の田沢湖マラソンは、9月17日(日)に開催されます。市民の皆さんも健康づくりや自身へのチャレンジとして、ぜひご参加ください。当日はコース周辺で交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。詳しくは、仙北市ホームページのイベント欄をご覧ください。



ゲストランナー
土佐礼子さん

エントリーについての問合せ

田沢湖マラソンエントリーセンター
(南ラップシステム内) ☎ 0463-35-6691

その他問合せ

田沢湖マラソン実行委員会事務局
(教育委員会スポーツ振興課内) ☎ 43-1116
E-mail marason@city.semboku.akita.jp